

(社)全国産業廃棄物連合会青年部協議会

温暖化防止の取り組み814事例

11月23日、横浜で全国大会

CO₂マイナスプロジェクト

(社)全国産業廃棄物連

合会(石井邦夫会長)

青年部協議会(加藤宣

行会長)による「CO₂

マイナスプロジェクト

」が始まってからほ

ぼ1年。会員企業の総

エントリー2016社

から690社814事

例の取り組み報告が集

まった。11月23日、横

浜港国際客船ターミナ

ル大さん橋ホールで開

催される全国大会で優

良事例を表彰する。

業界を挙げた温暖化

防止の取り組みが新た

な節目を迎えることに

なりそうだ。

同プロジェクトは全

産廃連の重点取り組み

の一つである「地球温

暖化対策のための環境

自主行動計画の推進」

(08年3月改訂)を達

成するもの。同計画で

は2010年度の温室

効果ガス排出量を、基

準年度(2000年度)

と同程度(±0%)に

することを目標に掲げ

た。運営にあたり、今年設立10周年を迎える

青年部協議会を中心と

なって推進。処理業界

を挙げた社会貢献プロ

ジェクトとして内外の

関心を集めた。事務局

によると、同プロジェ

クトによるCO₂排出

削減量は現在集計中だ

が、最終的には数万ト

ンに上る見込み。

23日の表彰は、C

O₂削減量の多さだけ

でなく、参加率の高い

地区(エントリー率)、

社会貢献度(エコアイ

ディア)、排出事業者な

どとの共同プロジェクト

トーなど4部門で評

価。

加藤会長は全国各地

を訪問、同プロジェク

トへの参加を呼びかけ

てきた。「同プロジェ

クトは)いますぐ目に

見えたメリットはない

かもしれない。しかし、

損得より善悪で考える

業界の行動は必ずメリ

ットに変えられる」と

語っている。